

特集1

# 子どもの貧困って何!?

ひんこん

## いま、居場所づくりに取り組む理由

わけ

「子どもの貧困対策」が必要だといわれている今、市内でも子ども食堂など、さまざまな居場所づくりや環境整備の取り組みが進んでいます。

現代の貧困について、マスメディアなどで繰り返し出てくる「子どもの貧困率13.9%、およそ7人に1人」という数字を聞いたことがある人は多いと思います。また一方で、「うちの地域には貧困状態の子はいない」という声もあります。

### 全国における子どもの貧困の現状と背景

- ▽子どもの貧困率 18歳未満の子どもで **13.9%**
- ▽ひとり親世帯での貧困率 **50.8%**
- ▽生活保護世帯の子ども高等学校等進学率 **93.6%**  
(全体 99.0%)

(平成28年度「国民生活基礎調査」、平成29年4月厚生労働省調査より)

「子どもの貧困」には、2種類あります。食べ物や着る物に困る生活を強いられる「絶対的貧困」、そして世帯の手取り収入額が全世帯の中央値の半分以下(約122万円以下)の水準で生活している「相対的貧困」です。

相対的貧困状態にある子どもたちは、友達関係が疎遠になるような「関係性の貧困」や、さまざまな体験が制限されるといった「機会の貧困」につながることが多くなります。

これは、今の子どもたちが置かれている社会が、塾もスポーツも友人関係でさえも、お金の有

## 多様な子どもの居場所づくり



無に左右されることが多くなっているからです。だからこそ、経済的事情に左右されない人間関係づくりやさまざまな体験ができる居場所が必要なのです。

市では、まちの将来を担う『地域の宝』である子どもたちの将来が、生まれ育った環境や貧困状態によって奪われることがないように、官民が連携した必要な環境整備や教育の機会均等を図ることが、極めて重要だと考えています。

市では、生活保護世帯や生活困窮状態にあるなど、さまざまな困難を抱える子どもと保護者を対象に、学習支援や生活支援を実施しています。

「つながり応援センターよろず」が中心となり、市内の社会福祉法人や企業、市民ボランティアの皆さんと協働しながら子どもたちに寄り添った居場所づくりを展開しています。

## 学習支援と生活支援



## 子ども食堂

最近県内で広がっている「子ども食堂」。食事を通じた垣根のない場をつくることで、子どもたちを地域で見守り、育み、地域ぐるみで大切にする取り組みとして実施されています。

今、地域で薄れつつある地域のつながりを取り戻すことで、地域での孤立をなくし『子どもの困窮の予防と早期発見を目指す』、これが子ども食堂に期待されている役割です。

9月末時点で県内に102か所、市内でも住民福祉協議会や地域住民の有志などを中心に7か所が開設されています。市内で実施されている子ども食堂の取り組みの一部を紹介します。

### 新旭子ども食堂

新旭住民福祉協議会が運営委員会を組織して平成29年12月に開設しました。毎月第2土曜日(12時~15時)に杉の木会館で開催しています。

毎回20人ほどのスタッフで約70人の参加者を受け入れ、カレーを中心に焼き芋やパンケーキなど工夫を凝らしたおやつを提供しています。

子ども食堂が他地域にも広がるよう思いを込めて活動しています。



### 安曇川ふれあい子ども食堂

安曇川住民福祉ネットワークが中心となり、平成30年3月に開設し、更生保護女性会、民生委員、個人ボランティアなどで運営しています。毎月第3土曜日(11時~14時)に、安曇川公民館で開催しています。子どもやお年寄り、家族連れたち約80人が集まり、楽しく交流しています。

将棋・オセロ・折紙など用意しています。地域のふれあいの居場所となるよう活動しています。



### 児童育成支援の会セカンドホーム未来

「子どもを支える力を集めたい」という保護者の声をきっかけに、教育行政・学童・学校関係者と保護者が発起人となり、区・学校・青少年育成・福祉・健康などの団体・関係者、個人が呼びかけに賛同し、平成30年6月にスタートしました。毎月第4土曜日(12時~15時)に、今津あいあいタウン地域交流センターで開催しています。

「生きづらさを感じている児童や青年を支え、さまざまな人が出会い学び合う場」を目指しています。



### 新旭駅前ふれあい食堂

「ごはん」を通して地域ぐるみで子どもを見守り育てていくこと、また食堂をきっかけにさまざまな世代がつながり、困っている人を放っておかない、あたたかいまなざしがあふれる地域づくりを目指して、平成30年6月に実行委員会を立ち上げました。毎月第4日曜日(12時~15時)に、新旭駅西ショッピングセンターエスパで開催しています。

子どものみならず、地域の高齢者も多く参加されていて、毎回約100人の参加者でにぎわっています。



子ども食堂をはじめとした居場所づくりや、子どもの居場所でのボランティア活動に興味のある方は、お気軽にお問い合わせください。

岡高島市社会福祉協議会

☎(36)82220

岡社会福祉課 ☎(25)8120